

木城町消防団本部消防水槽付きポンプ車購入事業

仕様書

令和8年度事業

木城町

## 1. 総則

- (1) この仕様書は、木城町（以下「本町」という。）が購入する小型水槽付消防ポンプ自動車（以下「車両」という。）の製作に関する一切に適用する。
- (2) 車両の製作は、この仕様書および製作承認図等（契約後受注者にて製作すること。）によるほか関係法令に従うこと。
- (3) 車両は、道路運送車両法および道路運送車両法の保安基準に適合し、緊急自動車としての承認が得られること。
- (4) 受注者は、消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、品質確保、環境対策の配慮から ISO9001、ISO14001 認証取得による品質環境管理システムによって製造が行われていること。
- (5) 環境負荷の低減に努めるため、解体・リサイクルにおける取組として、一般社団法人日本自動車車体工業会が定める新環境基準適合ラベルを取得すること。
- (6) 受注者は、契約にあたりこの仕様書を了承し、不審な点については、本町担当員に質問し十分に熟知した上で契約すること。
- (7) 受注者は、契約後仕様書詳細について本町担当員と打合せを行い、製作承認図等を本町に提出し、承認を得て製作に着手すること。
- (8) 受注者は、契約後製作にあたりこの仕様書に疑問が生じた場合は、本町担当員に連絡の上承認または指示を受けること。
- (9) 受注者は、製作にあたりこの仕様書を変更する必要がある場合には、本町担当員と打合せの上、変更承認図を提出し、承認を得ること。
- (10) 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- (11) 受注者は、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- (12) 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。
  - ① 艤装中間検査（本町が適当と判断する時期に受注者製作工場にて実施）また、以下の検査をその際併せて行うこととする。）
    - (ア) 完成車重量測定検査
    - (イ) 完成車転覆角度検査
    - (ウ) 完成車悪路走行検査
    - (エ) 完成車登坂走行検査
  - ② 完成検査（本町が指定する場所にて実施する。）
- (13) 納期は、次の通りとする。
  - ① 納期 : 令和9年 3月 23日  
(※法令改正によるシャシ生産状況等により、納期内に納車できないと認められる場合は本町と別途協議すること。)
  - ② 納入場所 : 新規検査および新規登録を受け、本町に納入すること。

(14) 補足

- ① 保証 : 保証期間は納入後 1 年間とする。
- ② 登録諸費用 : 登録に関する一切の経費については受注者が負担する。但し、自動車登録手数料、自動車重量税および自動車損害賠償責任保険料、リサイクル料金は、本町が負担する。
- ③ 検査 : 「消防車両の安全基準について」において示されている「第三者機関による認証」は、日本消防検定協会による安全基準への適合の検証を行うこと。但し、消防ポンプ自動車に係る受託個別試験手数料は発注者が負担する。
- ④ 講習 : 「消防車両の安全基準について」に基づき、受注者は納入時に納車講習、納入後には安全操作技能講習及び点検整備講習を実施することとする。なお、安全操作技能講習及び点検整備講習についての費用は発注者の負担とし、納入後別途協議の上日程を決定するものとする。

2. 提出書類

(1) 受注者は、契約後次の書類を 2 部提出すること。

- ① 製作工程表
- ② 製作承認図（外観 5 面図、ボックス内配置図）
- ③ 電気配線図

(2) 受注者は、納入時に次の書類を 2 部提出すること。

- ① ポンプ取扱説明書
- ② ポンプサービスマニュアル
- ③ パーツリスト
- ④ 車両取扱説明書（1 部）
- ⑤ 電気配線図
- ⑥ ポンプ性能試験成績表
- ⑦ 受託試験合格及び安全基準適合プレート写し
- ⑧ 工程写真
  - (ア) 製作中各工程（シャシ、組立中、塗装後）
  - (イ) 試験実施工程（転覆角度試験、重量実測試験、悪路走行試験、登坂試験、放水試験）
- ⑨ 車輛安定傾斜角度測定表
- ⑩ 計量証明書

### 3. 概要

本車両は、下記のシャシにインデューサー付1段ボリュートポンプと1,500Lの水槽を装備し、水槽、河川、消火栓等の水利より強力な放水を行うものとする。

### 4. 使用シャシ

- (1) 型式 : 3 t 級消防専用ダブルキャブオーバー型
- (2) 駆動方式 : 4WD
- (3) 車両総重量 : 7,000kg未満 (準中型免許にて運転できること)
- (4) トランスミッション : オートマチック
- (5) ホイルベース : 2, 750 mm ~ 2, 800 mm
- (6) 乗車人員 : 5名 (前部2名、後部3名)
- (7) 検定出力 : 110 kW以上
- (8) P T O : 水ポンプ用 P T O
- (9) バッテリ : 105E41R型 12V 100AH以上 2個
- (10) オルタネータ : 24V-80A以上
- (11) オイルパンヒーター : キャブタイヤコード 10m 1本付き
- (12) チルト装置 : 電動油圧式
- (13) リアサスペンション : 強化型
- (14) エアコン : 純正品
- (15) オーディオ : 純正品
- (16) タイヤ : 205/85R16
- (17) キャブ内シート : 純正品
- (18) サイドバイザー : キャブ各ドア上部
- (19) 泥除けたれゴム : 全輪
- (20) スペアタイヤ : ホイル付き 1本
- (21) フロアマット : 前後席1式
- (22) オイルジャッキ : 1式
- (23) 標準工具 : 1式
- (24) 愛車セット : 1式
- (25) 非常信号灯 : 1式
- (26) タイヤチェーン : シングル用 1式
- (27) 停止表示板 : 1式
- (28) バックアイカメラ
- (29) オートヘッドライト

## 5. 水ポンプ装置

- (1) 水ポンプ インデューサー付 1 段ボリュートポンプ  
(日本消防検定協会による受託評価の品質評価合格品)  
ポンプ性能 A-2 級  
放水静圧力 0.85MPa において放水量 2,000L/min 以上  
放水静圧力 1.40MPa において放水量 1,400L/min 以上
- (2) 水ポンプは、シャシエンジンの P. T. O (パワーテイクオフ) により歯付ベルトにて駆動され、P. T. O の操作は運転席及びポンプ操作装置に設けられたスイッチにより行うものとする。
- (3) ポンプ材質は車両全体の軽量化を考慮し、アルミ製とすること。但し、砂利等の混入に対応できるよう強度、耐腐食性も考慮し、インペラは青銅铸件製 (CAC 製) とすること。
- (4) スペースを有効利用する為、ポンプはギアにより増速を可能とした 1 段ボリュートポンプを使用し、小型化すること。
- (5) キャビテーションを抑制する為、吸入口にインデューサーを設けること。
- (6) グランド部はグリスレスのメカニカルシールとし、不凍液や作動油、グレーチングオイル等の使用及び継ぎ足しも必要ない構造とする。尚、軸先端部もグリスレスのこと。

## 6. 真空ポンプ

- (1) 真空ポンプはピストンを左右に動かし吸排気バルブにより空気を排出するピストン式真空ポンプとすること。
- (2) 真空ポンプ本体は注油装置を必要としない完全オイルレス構造とする。
- (3) 動力の接・断は電磁クラッチによる構造とし、動力伝達については歯付ベルトによりスムーズな伝達が行えること。
- (4) 操作は押ボタン式スイッチによるものとし、揚水完了後は自動的に停止すること。尚、非常用の別系統スイッチを右側に設けるものとする。
- (5) 真空性能吸管外端閉塞にて 30 秒以内に大気圧の 84% とする。
- (6) 気水分離機を必要としない構造とし、吸水配管内の空気を効果的に排出するため、エアチャンバ方式とする。操作は押ボタン式スイッチとする。
- (7) 真空ポンプの作動は破損防止の為、自動揚水時エンジン回転が一定回転以上では作動しない構造とし、回転が高い場合には自動的にエンジン回転を低下させた後、適正回転まで上昇する構造とする。

## 7. 冷却水装置

- (1) ギヤケース、補助クーラーへの配管は、一系統にまとめ1つのコックで調整できること。
- (2) 予備回路を設け、通常及び予備それぞれストレーナーを備えるものとする。
- (3) 冷却水を外部へ放出せず、水槽へ還流させること。また、自然水利を揚水した場合、水槽へゴミが浸入しないようコック操作により外部へ放出できる構造とする。

## 8. 安全機能装置付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は自動調光機能付多目的液晶ディスプレイと液晶ディスプレイ両側面に一体となったパネルスイッチを設け、操作員が容易に且つ安全にポンプ操作が行える様、次の機能を有するものとし、一つの操作盤で全てが行なえるものとする。

- (1) 圧力計・連成計（リタード式）は直径 100mm としステッピングモータを用いた電子式（透過光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付）を取付、更にディスプレイ内にはデジタル式の圧力計と連成計の値表示と圧力の上昇下降を視覚的に示すインジケータを設けることで、視認性と安全性に優れたものとする。
- (2) ポンプスロットルは電子（エンコーダ）式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。なお、表示はPTOを入れた時のみ反応すること。
- (3) 液晶ディスプレイは点検の為、起動用スイッチを個別に設け、PTOが非作動時でも表示できること。
- (4) ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設ける。
- (5) 操作盤上に真空作動、停止（緊急減圧機能兼用）ボタンを設け、操作性を考慮し、φ20以上の照光スイッチを使用すること。
- (6) 多目的表示液晶ディスプレイの詳細は以下の通りとする。
  - ① 液晶画面は7.0インチTFTカラー液晶とし、昼夜に関わらず認識し易いよう自動調光機能を装備し、映り込み抑制樹脂封入式の高コントラスト比の低反射型硬質パネルとする。寒冷地での使用も鑑み、液晶ディスプレイの使用温度範囲は、-30℃～60℃とする。また、液晶画面には結露防止対策を施すこと。
  - ② より正確な圧力値の確認を容易にするため、ディスプレイ内にはデジタル式の圧力計と連成計の値を表示し、さらに、圧力の上昇下降を視覚的に分かりやすく確認できるよう、インジケータも併せて表示すること。
  - ③ 取扱表示（操作盤及び非常用操作盤の操作方法、使用油脂一覧、不具合時の対応フローチャート等）をPDF表示が出来ること（拡大・縮小が可能なこと）。
  - ④ モニタ表示（警告モニタとして冷却水及び揚水装置作動タイムに対する警告表示ができ、なおかつ警報が鳴るようにすることとし、各ボールコックおよび

びバイパスバルブの開閉状況、揚水・放水の状況確認ができ、回転計・圧力計・連成計・流量計、積算流量計、放水反動力計、電源電圧を各々デジタル数値により表示できるものとする。）

- ⑤ 流水表示（各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。）
  - ⑥ ディスプレイ内の各表示切替は液晶パネル左右に設けられた一体式のパネルスイッチにより行えるものとする。
  - ⑦ 放水口の放水流量をデジタル表示し流量範囲によって表示色が変化すること。流量範囲は、筒先を一人持ちで放水できる範囲は緑色の背景、二人持ちで放水できる範囲は赤色の背景、二人持ちでも放水ができない範囲は灰色の背景に分けるものし、絵柄等にて何名か分かる様にもすること。また、積算放水量もデジタル表示できること。
  - ⑧ 隊員の安全確保の為、左右放水口の放水時使用ノズルでの反動力をニュートン単位で表示できること。パネルスイッチにて流量表示と反動力表示が切り替えられること。
  - ⑨ ディスプレイ内の各種操作及び表示切替は、手袋装着時でも確実に操作が行えるようパネルスイッチとする。
  - ⑩ シヤシ DPR インジケータランプの出力を液晶パネル内にも表示可能なこと。
  - ⑪ 運転条件の確認や安全機能作動時については液晶パネルに種類によって色を分けて表示を行うものとし、警報の内容の説明や対処法等も併せてテキスト表示されること。
  - ⑫ ポンプ増速機のオイル交換日を入力できるものとし、当該オイル交換の管理が可能なこと。また、オイルレベルの低下や交換時期にはその旨が表示されること。
  - ⑬ カレンダー・時計機能  
現在の正確な日付・時刻を確認するための機能を液晶ディスプレイ内に表示すること。表示する日付・時刻は GPS 衛星電波を受信し、自動的に時刻を補正する機能を有すること。
- (7) 非常時における真空形成装置およびスロットル操作はポンプ室右側に設けられた別回路の手動操作装置にて行えるものとする。
- (8) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保する為、次の安全機能を設ける。
- ① スロットル固定機能  
不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。但し、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作出来るものとする。
  - ② ホース耐圧警報機能

放水配管の圧力がホースの耐圧を超えると警報音と共に液晶ディスプレイに警告を表示し、圧力がホース耐圧以下となるよう自動で回転を下げるものとする。制御の ON/OFF 及びホースの耐圧設定が行えること。

③ 上限圧力設定機能

ポンプ上限圧力値を任意に設定し、設定圧以上にポンプ圧が上がらないためのポンプ圧上限設定機能を設ける。

④ 自動調圧機能

機関員の負担を軽減する為、自動調圧装置を設けるものとし手動にて任意の圧力に上昇させた時点で設定する方法と、予め設定された7種類以上の設定圧力をワンタッチにより選択する操作方法が併用できる構造とすること。自動調圧機能の解除については、スロットル操作を行った場合自動的に解除される構造とするとともに、ワンタッチにて解除も可能な構造とすること。

⑤ 高圧中継警報

自動調圧中に中継圧が高く、エンジン回転数をアイドリングまで下げても設定圧まで下げられない時、警報音と共に液晶ディスプレイ内に高圧中継警告表示が点滅し、その説明と対処法が表示されること。

⑥ 低圧中継警報

中継水量が不足している時、警報音と共に液晶ディスプレイ内に低圧中継警告表示が点滅し、その説明と対処法が表示されること。(ON/OFF 機能付き)。

⑦ スロットルインターロック

PTO がつながっていない場合は、全てのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作が出来ないスロットルインターロック機能を設け、スロットルの開度表示も PTO が入っている時のみ変化すること。

⑧ 緊急減圧機能

左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は即座にエンジン回転をアイドリングまたは安全な回転数まで下げ、水吐出圧力を減圧する構造とする。なお、通常の放水終了時にも使用出来る様、減圧後はスロットル操作すればすぐにスロットルアップできる構造とすること。

⑨ ダイアグ機能

不具合が発生した場合に、原因の特定を容易にするため、ダイアグ機能を設け、エラー履歴を10件程度記録し、液晶ディスプレイ内で確認できること。

⑩ 真空テスト機能

点検を容易にする為、真空テスト機能を設け、エンジンを OFF にしなくてもポンプ操作装置に設けられた PTO スwitch の OFF のみで漏気チェックが可能なこと。

真空ポンプ駆動後、所定の真空度まで下がれば OK と表示し、30秒経過後も規

定値まで下がらなければ NG と表示すること。また、真空テスト完了後、30 秒間に規定値以上の漏れがなければ OK と表示し、漏れがあれば NG と表示すること。

⑪ 落水警報装置

揚水待機時の想定外の落水を防止するために、揚水完了後又はポンプ作動後、1 分程度落水状態が続くと警報を表示すること。

⑫ 強制真空作動機能

配管内の空気溜まりの排出が必要な場合、揚水状態でも真空作動ボタンを押している間だけ真空形成が可能なこと。

⑬ 音声ガイダンス機能

ポンプ運転中における、各種のエラー(冷却水警報、真空タイム警報、低圧中継警報、高圧中継警報、真空タイムエラー)が発生した際に、内容と対処方法を機関員に音声で知らせることにより、エラー発生に対して的確な措置が行え、より安全な操作を支援する機能を設けること。

## 9. 吸水口

吸水口は、消防呼称 75mm ボールコック (ストレーナ付) とし、車両両側に各 1 個設け、75×10mm の吸管を常時接続する構造とする。(連続呼水装置付) 吸口エルボは、吸管により車体を傷つけないようスーパースイングとする。レバーは左右とも前方向で開とする。

## 10. 放水口

放水口は、消防呼称 65mm ボールコックとし、車両両側に各 2 個設ける。レバーは左右とも前方向で開とする。

## 11. 中継吸口

中継口は、消防呼称 65mm ボールコックとし、車両両側に各 1 個設ける。レバーは左右とも前方向で開とする。

## 12. 水槽

- (1) 水槽容量は 1,500L とし、重量配分を考慮しキャブ後部に設けること。
- (2) 材質については腐食対策、安定傾斜角度対策、重量軽減を考慮した部材とする。
- (3) 水槽左右に各 1 個差込式積水口 (鎖、オスキャップ付き) を設けること。
- (4) オーバーフロー用排水管を設けること。
- (5) 水量計を左右に設けること。
- (6) バルブ式のタンクドレンを設けること。

- (7) 水槽上部に丸型マンホールを設け、内部の点検及び清掃が容易に行える構造とすること。
- (8) タンク吸水口については、電動コックを使用しポンプ操作装置で開閉を可能とする。また早期揚水状態に1動作で行えるよう、タンク吸水コックを開くと真空形成操作が連動で作動すること。
- (9) 逆流を防止する為、吸水口及び中継口が開いている場合、タンク吸水コックは開かないこと。また、タンク吸水コックが開いている状態で吸水口及び中継口を開けると自動的に閉まること。非常時は車外よりコック操作が可能なこととする。

### 13. キャブの構造

- (1) キャブは、シャシ固有の鋼板製ダブルキャブオーバー型とし、電動油圧チルト装置を設け、必要により補強し落下防止の支え棒等を設けること。
- (2) キャブ後部は空気呼吸器が積載できる約170mm程度張り出し、面体掛け用フックを3個設けること。
- (3) 乗降用の手摺をキャブの両側面に設けること。
- (4) 乗車人員の走行時においての安全に必要な握り棒、手摺及び安全帯を設けること。
- (5) 座席シートには、超防汚シートを施すこと。
- (6) 助手席は1名掛け仕様とし、センターコンソールBOXを設けること。
- (7) 前席と後席の間に手摺を設け、物掛けフックを5個設けること。
- (8) 地図等を収納するボックス（A3サイズ）をキャブ内中央手摺に1個設けること。
- (9) バンパーは前方に張り出し、上面にアルミ縞板を取り付けること。
- (10) キャビン左右のサイドステップは、アルミ縞板にて端部折り曲げ加工を施し、左右キャブ下前輪後部からポンプ室前まで設けること。バッテリー側は埋没式金具ワンタッチ取り外し式とし、右側はステップとエプロン一体型とする。
- (11) 消防章を車両前面中央に取付けること。
- (12) キャブ天井には赤色警光灯を取付けること。
- (13) 標識灯は赤色警光灯内蔵型とする。
- (14) センターコンソールに取り付けた10連スイッチによって車外機、無線機取付装置を設けること。（詳細は協議）

### 14. 車両の構造

- (1) 車両の完成寸法は、次の通りとする。
  - ① 全長 : 6000mm 以下
  - ② 全幅 : 1950mm 以下
  - ③ 全高 : 2750mm 以下

- (2) 艀装は総合的な重量軽減、車両重量のバランスを考慮して製作する。
- (3) 車両の重要な点検箇所および主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用する為のスペースを確保すると共に、必要箇所には点検口または点検扉を設ける。
- (4) 車両の側板及び各ステップ部の材質は重量軽減、防錆を考慮し極力アルミニウムを使用し、端部周辺は折り曲げ構造とする。
- (5) 車体形状は箱型とし、左右側面各 1 枚の MCD 製手動バー式アルミシャッターを設けること。シャッターには閉め易いようバー上部に押さえ板を設けること。
- (6) 車両後方下部はデパーチャーアングルを確保するため、切り上げた形状とする。
- (7) 側面シャッターボックス内上部へアクセスするため、シャッター下部はリアフェンダーから側面後部まで一体型のチェーンレス式ステップ兼用扉とする。
- (8) 側面シャッターボックス内ポンプ室上部には左右貫通型の資機材収納スペースを設けること。左右間口には機材落下防止の為、上下可動式 1 段手摺を設けること。ポンプ室後方左右側面は吸管収納スペースとすることとし、吸管巻内に資機材を取付け可能なこと。
- (9) ポンプ室は点検手入れが容易に行えるよう、上部に点検扉を設けること。
- (10) 後面シャッターボックス内は、資機材収納スペースとし、可動式棚等を設けること。
- (11) 車体天井左右には赤色点滅灯、照明灯が取付できるようアオリを設けること。
- (12) 燃料タンクは、シャシ固有の位置に取付けること。
- (13) 牽引フックを車両前部に設けること。
- (14) 車体後面右側に車両上面への昇降用として、天井昇降用アルミはしごを設けること。
- (15) 車体天井に伸縮式梯子を取付すること。
- (16) ナンバープレートは視認性向上の為、後面上部に取り付けること。
- (17) 別紙積載品を適宜取り付け、積載すること。
- (18) シャッターボックス内空きスペースには適宜スノコ板を取り付けること。
- (19) 各ボックス内に水抜き穴を設けること。
- (20) 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称および操作方法等を明記すること。
- (21) 後記する付属品については、別途打ち合わせの上取り付けること。

## 15. 電装品

- (1) キャブ天井に赤色警光灯を取付けること。
- (2) 赤色点滅灯をキャブ前面左右に各 1 個取り付け、スイッチは、赤色警光灯と連動すること。
- (3) 赤色点滅灯を後面左右に各 1 個取り付け、スイッチは、赤色警光灯と連動すること。
- (4) 赤色点滅灯を側面上部左右に各 2 個取り付け、スイッチは、赤色警光灯と連動する

こと。

- (5) 標識灯は赤色警光灯に内蔵させること。スイッチはシャシ夜間照明灯と連動すること。
- (6) キャブ内天井には LED 灯を設けること。
- (7) キャブ内助手席及び左右後部座席に各 1 個、計 3 個マップランプを設けること。
- (8) バッテリーメインスイッチを設け、艤装関係の電源も切れること。
- (9) 電子サイレンアンプ、スイッチ類等は、前席上部またはダッシュボード内、前席中央にコンソールボックスを設け取り付けること。
- (10) 電子サイレン用スピーカー及びモーターサイレンは赤色警光灯に内蔵させること。電動サイレン用スイッチは助手席付近に設け、自動吹鳴装置も設けること。サーチライトは、車体前方右側上部及び、車体後方左側上部に取付けること。
- (11) ボックス内には作業灯を必要数取り付け計器灯と兼用すること。点灯はシャッターまたは扉と連動すること。
- (12) ポンプ室内、エンジン室内にそれぞれに作業灯を取り付けること。
- (13) 車両側面上部に作業灯を左右各 2 個取付けること。
- (14) 車両後面に作業灯を左右各 1 個取付けること。
- (15) 路肩灯を後輪前方左右に各 1 個設けること。スイッチは単独スイッチとすること。
- (16) 車幅灯を車両後端左右に各 1 個設けること。スイッチはシャシ夜間照明灯と連動すること。
- (17) バックアイカメラを車体後面上部に設け、モニタはキャブ内中央上部のバックミラー部に設けること。モニタはバックギアと連動し映像が映ること。

## 16. 塗装及び記入文字

- (1) 車両鋼材部分の下地塗装は充分錆落としの上、防錆性能が高く長期にわたり錆の発生を防ぐ二液型エポキシプライマー（ハイパーエポキシプライマーSSM）を使用し、パテ、サフェーサ（ウレタンプラサフSSM）を施工後、十分に乾燥させてから、ハイソリッド型ウレタン樹脂赤色塗料（ハイソリッドモリタレッドSSM）により2回以上の塗装を実施し、その上には光沢と耐候性向上のためクリア塗料（ハイパークリアLW）を2回以上施すこと。塗装後は磨き作業により塗装表面を整えること。
- (2) 塗料は環境に配慮され、労働安全衛生法に基づき定められた特定化学物質障害予防規則対応品を使用すること。
- (3) ポンプ配管は防錆性、防食性に優れたカチオン電着塗装とすること。
- (4) バックミラー裏面及びステータはシャシ固有とする
- (5) シャッターは赤塗装とすること。
- (6) ドア厚み部はシャシ固有とし、ウェザーストリップまでは赤色塗装とする。
- (7) 車両下回りは黒色塗装とすること。

- (8) ボールコックは銀色塗装とすること。
- (9) ボックス内塗装色は銀色塗装とすること。
- (10) 車両左右及び標識灯には指定の文字を記入すること。※別途指示
- (11) 再帰性反射材を貼り付けること。※別途指示

## 17. 取付品・付属品

### 取付品及び取付装置

No.	品名	内容	個数
1	ポンプ圧力計	100mm 電子式 ステッピングモータ式 透過照明付	2 個
2	ポンプ連成計	100mm 電子式 ステッピングモータ式 透過照明付	2 個
3	エンジン回転計	シャシー固有のもの	1 個
4	エンジン油温計	シャシー固有のもの	1 個
5	赤色警光灯	NP-ML-VK2M-A2	1 式
6	赤色点滅灯	前面 2 個 側面左右各 2 個 後面 2 個	1 式
7	拡声器付電子サイレン	大阪サイレン製 TSK-D152 本体（サイレン、警鐘入、拡声装置付）一式 スピーカー 1 個	1 式
8	照明灯	小糸製作所製 クアトロビーム MYS-75LP LED75W	2 個
9	後退警報器	シャシ固有のもの	1 個
10	標識灯	グローブ黄色・記入文字は後日指示	1 個

### 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

No.	品名	内容	個数
1	電動サイレン	赤色警光灯内臓	1 個
2	ポンプ回転計	左右液晶ディスプレイ内表示	1 式
3	流量計	左右液晶ディスプレイ内 吐水口用表示 左右各 1	1 式
4	積算流量計	左右液晶ディスプレイ内表示	1 式
5	キャブチルト装置	電動油圧式	1 式
6	オイルパンヒーター	シャシ固有	1 式
7	不凍液注入装置		1 式
8	スタッドレスタイヤ		1 式
9	作業灯	左右アオリ部各 2 ボディ後面左右各 1	1 式
10	屋外スピーカー	両サイドシャッター内	2 個

付属品

No.	品名	内容	個数
1	吸管	大阪サイレン製 LF-RS75mm×10m(AC 金具)	2本
2	吸口ストレーナ	プラスチック製	2個
3	吸管ストレーナ	プラスチック製	2個
4	吸管ちりよけ籠	プラスチック製 2個	2個
5	吸管枕木	ゴム製	2個
6	吸管ロープ	径 10mm×15m	2本
7	中継口ストレーナ	プラスチック製	2個
8	中継用媒介金具	呼称 65 ネジメス×65 差込メス (AC) 不意離脱防止機能付 ミラクルロック媒介	2個
9	消火栓金具	呼称 75 ネジメス×65 差込メス (AC)	1個
10	消火栓開閉金具	長さ 呼称 800・持手 呼称 300 1個 日之出式バール 1個	1式
11	吸管スパナ	左右各 1丁	2丁
12	管そう	φ65 熱収縮グリップ付 (AC)	2本
14	拡声器	TS-633R ノボル電機	1個
15	可変噴霧ノズル	プロコンペ 21	2個
16	放水 (吐水口) 媒介金具	呼称 65 ネジメス×65 差込オス (AC) 不意離脱防止機能付 ミラクルロック媒介	4個
17	とび口	1.8m グラスファイバー	2本
18	金てこ	長さ 850mm	1丁
19	剣先スコップ	SUS 製	1丁
20	はしご	3.6m 二つ折り 赤色	1脚
21	車輪止	ゴム製	2個
22	消火器	ABC20 型自動車用	1本
23	冷却水ストレーナキャップ用スパナ		1丁
24	吸口エルボ	スィーベルエルボ AS-75SW・90 (YONE)	2個
25	漏水止バンド		3個
26	ホースブリッジ	ニュースーパーL 型	1式
27	燃料携行缶	10L	1個
28	二股分岐管	WB-65・50	1個
29	スタンドパイプ	PS-65	1本
30	発動発電機	Eu9i	1式
31	コードリール	GE-30K 30m 防雨型	1式
32	充電式投光器	ポータブルシーン 104Y	1式
33	ホース	1.3MPa65mm×20本	10本
34	圧力計付媒介金具	非常用 差込メスキャップ	1個
35	補修用ラッカー	スプレー式 赤色	1個
36	工具	シャシ付属品、オイルサクシヨンガン	1式
37	低水位ストレーナ		1個